令和７年度

大津市立真野中学校経営管理全体計画

滋賀の教育大綱（第Ⅳ期:令和６年４月～）

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり
～「三方よし」で幸せ育む滋賀の教育～

＜教育施策を３つの柱＞
柱Ⅰ　夢と生きる力を育む
柱Ⅱ　学びの基盤を支える
柱Ⅲ　みんなで学びを支える

校　訓　感謝・誇り・責任

学校教育目標
心豊かでたくましく
社会を生き抜く子どもの育成

～学力向上・幸福度向上・健やかな体を育てる～

大津市教育振興基本計画／教育大綱

（第Ⅳ期：令和７年４月～）
一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育

１．一人ひとりの可能性を引き出し、心豊かに生きる力を育む
２．すべての子どもが安心して学べる教育を推進する
３．ともに学び支え合う社会の実現を目指す

めざす教師像

◇志を持ち、教育への意欲と情熱のある教職員
◇組織の一員として自分の役割を誠実に果たす教職員
◇細やかな観察力と高い人権意識を持つ教職員
◇高い危機管理意識を持つ教職員
◇保護者、生徒に誠実に温かく向き合う教職員

めざす学校像

・笑顔あふれる安心安全な学校
・確かな学力と自ら学ぶ力が身につく学校
・家庭・地域から信頼される学校
・地域とともに生徒を育てる学校

めざす生徒像

◇ 志を掲げ、目標に向かって努力する生徒
◇ 明るく優しさのある生徒
◇ やりぬく情熱と体力のある生徒

学校づくり

・誰もが居心地のいい温かな学校
「生徒ファースト」の学校づくり
・安心安全な学校
・迅速で積極的な情報提供
・地域とともにある教育実践
・学校と家庭・地域との連携による安心安全の確保

教育課程

・基礎基本の徹底と個性の伸長
・豊かな心と、実践的態度を育てる体験的な学習の実施
・個別最適な学びの充実と個に応じたきめ細やかな指導の充実
・ICT を積極的に活用した授業実践
・主体的・探究な教育活動の推進

校内研究

テーマ　：個別最適な学びと協働な学びの一体的な充実による授業づくり～学び合いとＩＣＴを活用した学習活動を通して～

1. 各教科等における個別最適な学びと協働的な学びを具体化した上で学習活動の充実を図る。
2. 個別最適な学びと協働的な学びの視点から、学び合いの学習活動やＩＣＴを効果的に活用する。
3. 個別最適な学びと協働的な学びを単元計画に位置づけ、各教科等の学習過程の充実を図る。

生徒指導

・自己指導能力を育む指導
・豊かな人間関係の育成
・心の通う生徒指導

『時を守り
場を清め
礼を正す』

生徒の行動目標：『真心』の徹底と行動化

一．礼儀をつくす心　～ あいさつをしっかりしよう ～
一．仲間を大切にする心　～ 人の気持ちを考えよう ～
一．楽しさの中に真面目さを忘れない心　～ どんなことにも全力で取り組もう ～
一．気持ちを伝える心　～ ありがとう、ごめんなさいを伝えよう～

本年度の重点

○安心安全で信頼される学校づくり

・命を大切にする教育の充実
・教職員の危機管理意識の向上
・一人ひとりの生徒を大切にした教育活動の展開
・生徒の自尊感情の醸成と人権感覚を磨く
・多様性を認め合う学校づくり

○心の通う積極的な生徒指導の推進

・「自分らしさを互いに認め合う仲間づくり」を基盤においた教育活動
・いじめ・不登校等の予防・発見・対応・見守り
・「時を守り、場を清め、礼を正す」指導の徹底
・ホット♥ルームの効果的な活用

○特別支援教育の充実

・教室環境・授業のユニバーサルデザイン教育化
・個別の指導計画の作成と活用
・教育上特別な配慮を要する生徒への適切な指導と支援、関係機関との連携の強化

○主体的・探究的で創意ある教育活動の推進

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進
・基礎的・基本的な知識や技能の定着、読み解く力の育成、主体的･探究的に学ぶ力の育成に視点においた、確かな学力の育成
・生徒会活動や学年・学級の活動、「夢プロ」等、主体的・探求的な教育活動の推進

○地域とともにある特色ある学校づくり

・学校運営協議会（コミュニティスクール）と夢プロを核とした地域との連携･協働
・地域が有する歴史的、文化的、組織的、人的資産の積極的活用
・保幼小との連携の重視
・積極的な情報発信・情報公開

１　　年

「安心・成長・可能性の追求」

○誰もが安心できる集団を育てよう
他人ごとを自分ごととして考えられる本物のおもいやりをもつ。
○誰もが成長できる集団を育てよう
成長するための行動に喜びを見つけられる個人であり、集団となる。
○自分の得意なことだけでなく、自分にできる可能性を考えること、自分のスタンスを広げることで安心･成長の後押しをつくる。

学年スローガン
『心・技・体』
～経験を重ね、整え、磨く～

２　　年

「自立した生徒を育て、自分の力が出し合える関係を築く」
～安心して（見守られ）登校し、満足して（挑戦）下校する一日を～
①自立した行動の促進
・自分で考え、責任を持って行動できる主体的な生徒を育てる。
②他者との協働を大切にする
・「仲間っていいな」と思うような、クラス・学年での協力を促進する。
③目標に向かう挑戦の機会を増やす
・学習面・生活面・行事などで、一人ひとりが挑戦し成長できる環境をつくる。
④自分の進路を考える指導
・目標を持ち、計画的に努力できるように指導する。

学年スローガン
『真 team』
～自分を磨き、仲間と輝く～

３　　年

学級や様々な枠を越え、生徒と先生がひとつにまとまり、あたたかく、みんながきらきらと輝き、主役になれる学年集団をつくる。
思いやりと協力を大切にし、お互いを認め合い、仲間とともに学び合い、一人ひとりの進路実現のために、自分たちで考え、工夫し、挑戦し続けるたくましさを育む。
①あたたかい人間関係
②思いやりと協力
③けじめをつける習慣
④自主・自律を目指す
⑤「やってみよう」→「頑張ったね」の成功体験
⑥「ありがとう」があふれる集団

学年スローガン
Ｏｎｅ　Ｔｅａｍ!!!
～THANKS、ありがとう溢れる学年に～
～夢の実現のために、みんなを大切に～

特別支援学級

“自立を目指した生きる力の習得”

～障害の状態や発達段階に応じて、基礎的な能力や学力の定着を図るとともに、集団に参加しながら主体性や実践力を身につける。～
○生徒が関わる集団や全教師、家庭、関係機関との連携を密にし、情報交換を日常的に行い、よりよい指導の方向性を検討する。
○生徒一人ひとりの視点に立ち、発達特性を理解し、教育的ニーズに応じた調和のとれた教育課程の編成と個別指導計画の作成と活用、指導方法の工夫を行う。
○教科の授業では、基礎学力の定着を図るとともに、生活に根ざした学習を行う。
○知的障害のある生徒については、生活に結びついた具体的な学習活動を中心に指導する。
○学級間や学校間、地域社会との交流を推進し、社会性の育成を図る。
○日常生活で生きて働く力，生き抜く力を身につけさせ，進路保障に努める。